

来春開校 ひばり野西高

単位制 普通科2コース

サッカー柱、相撲部新設

八戸学院ひばり野西高校を来春五戸町に開校する学校法人光星学院（八戸市、法官新一理事長）は18日、町立公民館で学校説明会を

開き概要を公表した。単位制を導入し、普通科にスポーツ探求とグローバル探求の2コースを設ける。部活動は、前身となる現野辺地

西高校から継承するサッカー部をメインに、新たに相撲部などを置く。

来春4月の入学定員は80人。学年の区切りがなく、3年間以上在籍し決められた単位を取得すれば卒業できる単位制とする。

スポーツ探求コースは、サッカー、相撲の両部員を想定しており、競技の理論

や実技も授業に取り入れる。グローバル探求コースは国際探求、五戸探求などの科目を設けるほか、系列の八戸学院大学と連携し起業家精神を学ぶ。

部活動は、サッカー、相撲のほか、ダンス部、ボランテニア部を予定。相撲部は県南地域の高校に少なく、競技を続けたい選手を受け皿を目指す。また、未来応援部と称した部を設け、個人や外部団体で活動する生徒を学校が支援・応援する計画。

学校説明会には中学生や保護者ら約75人が参加。法人側からは法官理事長、校長予定者の山口吉彦参与、副校長予定者の加藤聡参事らが出席した。（中川博志）